

出資法人等経営評価書(公益法人会計用)

平成15年7月1日現在

団体名	財団法人 茨城県青少年協会	代表者	理事長 坏 健男	
所在地	茨城県水戸市緑町1丁目1番18号	所管部(局)課	知事直轄 女性青少年課	
ホームページURL	http://www8.ocn.ne.jp/~sibaraki/	E-mailアドレス	sibaraki@joy.ocn.ne.jp	
基本財産	50,100 千円	設立年月日	昭和55年 3月 31日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資率
	1	茨城県	50,000 千円	99.8%
	2		千円	
	3		千円	
	4		千円	
	5		千円	
	その他	団体	千円	
設立目的	青年団体等から活動拠点となる会館建設へ向けての動きが高まり、昭和53年度より建設が始まる。完成後の管理運営のため、財団法人茨城県青少年協会を設立し、茨城県が管理委託した。			
事業内容	1. 青少年、青少年関係者及びこれらの団体の行う健全育成事業への助成。 2. 茨城県立青少年会館の管理業務の受託。 3. 茨城県立偕楽園ユースホステル業務の受託。 4. その他法人の目的達成に必要な事業。			

[組織]

7月1日現在の人数		斜字は、県関係者で内数(OBを含む)					
役員		平成13年度	平成14年度	平成15年度	13年度	14年度	15年度
	常勤理事						
	非常勤理事	12	12	12	1	1	1
	常勤監事						
	非常勤監事	2	2	2			
	計	14	14	14	1	1	1
職員	管理職	1	1	1	1	1	1
	一般職	1	1	1			
	臨時職員	1	1	1			
	嘱託職員	5	5	5			
	計	8	8	8	1	1	1
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数
	2	1		5	8	52歳2月	2年 0月

[収支等の状況(公益法人会計)]

平成13年度までは企業会計基準を採用

単位:千円

区分		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
収支の状況	事業収入	-	-	-	-	54,370
	事業外収入	-	-	-	-	1,275
	収入合計	-	-	-	-	55,645
	事業支出	-	-	-	-	55,162
	事業外支出	-	-	-	-	362
	支出合計	-	-	-	-	55,524
	うち管理費	-	-	-	-	54,471
	うち人件費	-	-	-	-	25,243
	当期収支差額	-	-	-	-	121
	正味財産増加額(当期収支差額を除く。)	-	-	-	-	
	正味財産減少額(")	-	-	-	-	
	当期正味財産増減額	-	-	-	-	121
	前期繰越正味財産	-	-	-	-	51,035
期末正味財産	-	-	-	-	51,156	
財産の状況	資産	-	-	-	-	55,434
	流動資産	-	-	-	-	5,023
	固定資産	-	-	-	-	50,411
	負債	-	-	-	-	4,278
	流動負債	-	-	-	-	3,967
	うち短期借入金	-	-	-	-	
	固定負債	-	-	-	-	311
うち長期借入金	-	-	-	-		
正味財産	-	-	-	-	51,156	
財的関与状況	補助金	-	-	-	-	
	委託金	-	-	-	-	53,446
	貸付金	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	53,446
	財的関与の割合(%)					96
損失補償・債務保証						

[収支等の状況(企業会計)]

単位:千円

区 分		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
収支の 状 況	売上高	42,922	44,360	44,234	52,355	-
	営業外収益	1,390	1,091	1,158	1,093	-
	収益合計	44,312	45,451	45,392	53,448	-
	営業費用	43,957	45,572	45,321	53,107	-
	営業外費用	165			33	-
	費用合計	44,122	45,572	45,321	53,140	-
	うち管理費	43,757	45,522	45,037	53,007	-
	うち人件費	14,918	15,789	14,564	22,372	-
	経常損益	190	121	71	308	-
	特別利益					-
	特別損失					-
	税引前当期損益					-
	法人税,住民税,事業税					-
	当期損益	190	121	71	308	-
	前期繰越損益	50,587	50,777	50,656	50,727	-
	当期末処分利益・未処理損失	50,777	50,656	50,727	51,035	-
利益処分額・損失処理額					-	
次期繰越損益	50,777	50,656	50,727	51,035	-	
財産の 状 況	資産	55,723	55,316	55,749	54,539	-
	流動資産	5,623	5,216	5,649	4,439	-
	固定資産	50,100	50,100	50,100	50,100	-
	繰延資産					-
	負債	5,623	5,216	5,649	4,439	-
	流動負債	4,166	3,143	3,192	3,850	-
	うち短期借入金					-
	固定負債	1,457	2,073	2,457	589	-
うち長期借入金					-	
資本	50,100	50,100	50,100	50,100	-	
財的関与 状 況	補助金					-
	委託金	42,425	44,040	43,888	52,029	-
	貸付金					-
	計	42,425	44,040	43,888	52,029	-
	財政的関与の割合(%)			97	97	-
損失補償・債務保証					-	

公益法人会計用

[評価指標]

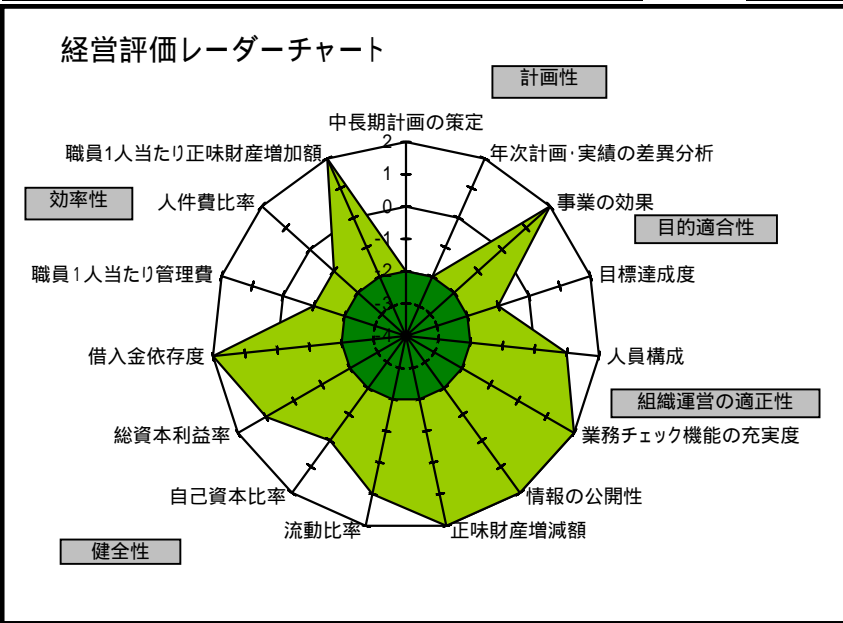
財団法人 茨城県青少年協会				12年度	13年度	14年度	評点
計画性	1	経営基本方針の策定	経営基本方針の策定				-2
	2	中長期経営計画の策定	(経営改善計画:平成 ~ 年度)				-2
	3	年次事業計画の策定	具体的な目標設定				0
	4	年次計画・実績の差異分析	計画未達成の原因分析と対策				-2
目的適合性	1	事業の意義	事業の必要性の検証				2
	2	事業の効果	(評価の指標:会館利用者数)				2
	3	顧客満足度の把握	(調査方法:)				-2
		目標達成度	% 実績値 ÷ 目標値 × 100	115	102	99	-1
	5	収益事業比率	% 収益事業の事業費 ÷ 全事業費 × 100	0	0	0	2
組織運営の適正性	1	人員構成	役員・職員の構成,年代構成の適正化				1
	2	職員の動機付け体制	組織の各職員の目標・成果に対する評価				2
	3	業務チェック機能の充実度	業務遂行における組織のチェック機能				2
	4	情報の公開性	事業活動内容・財務の公開状況				2
健全性	1	収支比率	% 事業支出 ÷ 事業収入 × 100	100	99	100	2
		正味財産増減額	千円	71	307	122	2
		流動比率	% 流動資産 ÷ 流動負債 × 100	120	124	127	1
		自己資本比率	% 正味財産 ÷ 総資本 × 100	100	100	100	0
	5	総資本利益率	% 正味財産増加額 ÷ 総資本 × 100	0	1	0	1
		借入金依存度	% 借入金 ÷ 総資本 × 100	0	0	0	2
		借入金返済能力	年 借入金残高 ÷ (当期正味財産増加額 + 償却費 + 引当金・積立金)	0	0	0	2
	8	補助金収入依存度	% 補助金収入 ÷ 収入合計 × 100	0	0	0	2
	9	受託事業の再委託度	% 受託事業の外部委託費 ÷ 受託事業費 × 100	31	23	23	1
		土地の含み損益					2
	11	資金の運用					2
効率性	1	職員1人当たり管理費	千円 管理費 ÷ 職員数	5,630	6,626	6,941	-1
	2	人件費比率	% 人件費 ÷ 収入合計 × 100	32	41	45	-1
	3	職員1人当たり事業収入	千円 事業収入 ÷ 職員数	5,529	6,544	6,796	1
	4	職員1人当たり正味財産増加額	千円 正味財産増加額 ÷ 職員数	79	117	132	2
	5	役員人件費比率	% 役員人件費 ÷ 人件費 × 100	0	0	0	2
	6	(施設管理運営型)施設等利用率	% 施設等利用延人数 ÷ 施設等延定員数 × 100	28	28	28	0
	7 1	(施設管理運営型)・職員1人当たり施設等利用人数	人 施設等利用延人数 ÷ 職員数	655	651	663	0
	7 2	(建設製造販売型)職員1人当たり建設・製造・販売実績	件 建設・製造・販売実績 ÷ 職員数				
	7 3	(役務提供型)・職員1人当たり役務提供実績	件 役務提供実績 ÷ 職員数				
7 4	(金融サービス型)・職員1人当たり貸付等取扱件数	件 貸付等取扱件数 ÷ 職員数					
8	使用料の減免等	(使用料の減免額: 千円)				-2	
9	管理費削減工夫度	削減目標の設定及び成果				2	

評点集計

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	-6	8	-75.0%
目的適合性	5	4	14	28.6%
組織運営の適正性	4	7	8	87.5%
健全性	11	30	40	75.0%
効率性	9	6	32	18.8%
合計	33	41	102	40.2%

警戒指標

経営評価レーダーチャート



[経営概況, 経営上の課題・対策等]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
今年度、協会としての「中長期経営計画」を策定する。	研修室及び宿泊室の利用率向上のために広報活動を積極的に実施する。 青少年関係者等へのPR及びホームページ等を活用した広報活動を充実する。	HP上で寄付行為、役員名簿、決算書等の情報公開を行う。	備品等の貸し出しについて料金を徴収する、研修室及び宿泊室の料金値上げなどを検討しながら自主財源の確保に努める。	入居団体を含めた館内全体で経費の削減に努める。 また、仕事量に対し、職員数は不足しているため、職員数の増と組織強化に努める。
今後の事業展開の方向	当館は開館以来23年が経過し、各所に老朽化が目立ってきており、改善・補修が必要となっている。会館のリニューアルを検討しながら、緊急を要する部分から補修を行っていく。 駐車スペースが現在83台分しかなく、利用団体が複数ある場合にはすぐに満車となり、利用者に不便をかけているため、駐車場の拡大及び歴史館駐車場のスムーズな利用を検討していく。茨城県内の「青少年の城」として、若者の情報発信基地として、会館の賑わいづくりに努めていく。			

記載者職氏名 事務長 吉波 久

代表者への説明(年月日及び説明時の指示等)

H15.7.29理事長説明。昨年度の経営評価ヒアリングにて指摘のあった中長期計画について早急に策定作業を進めること。

[所管課意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
今年度において中長期計画を策定し、その中で今後重点を置いて展開する事業の内容、及び適正な組織体制について検討すること。	管理を受託している施設(県立青少年会館)の利用者からアンケートをとるなどして、顧客満足度の把握に努めること。 施設管理受託業務以外にも、青少年向け情報の発信等の機能を強化していくこと。	ホームページを利用した青少年向け情報の発信などについても検討すること。 役職員を積極的に研修に参加させるなど、役職員が必要な専門知識を習得できるよう配慮すること。	引き続き自主財源の確保に努めること。	職員間の適正な事務分担を心がけること。 効率的運営により、経費削減を心がけること。 積極的広報などにより青少年会館の利用率アップに努めること。
総合的所見等	当該法人は、県有施設(県立青少年会館)の管理受託を主な業務としており、収入のほとんどが県からの委託費となっている。 今年度策定する中長期計画においては、青少年への情報提供機能の強化など、法人の設立目的に沿って今後展開すべき事業内容や、そのための組織体制づくりについて検討すること。 また、引き続き自主財源確保のための方策についても検討していくこと。			

[経営評価チームの意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
中長期計画の策定にあたっては、少子化時代の中で青少年の利用の利便性をどう図っていくかについて十分検討のうえ、事業内容や組織について定めるべきである。 特に、青少年会館建物の改修等については、教育財団管理の青少年向け施設など他機関の施設との役割分担や経費等を考慮する必要がある。	青少年会館の利用者で青少年、公共団体の割合は4割程度であり、今後、青少年等の利用が促進されるように、利用者アンケートなどにより顧客満足度の把握に努め、検討していく必要がある。 また、協会の設立目的に沿って、施設管理受託業務以外にも、青少年向け情報の発信等の機能を強化し、青少年の健全育成事業の実施に努めるべきである。	少ない職員数で効率的な運営に努めているが、自主事業の充実のためには一層効率的な事務執行を図る必要がある。	青少年会館の管理受託が収入の中心であるため県への依存度が高く、利益はあまり出ない収支構造であるが、十分な正味財産を有しており、健全性は問題ない。	人件費比率が、県からの出向者受け入れの関係で一時的に上昇したが、対処済みである。
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">緊急の改善が必要</div> </div> <p>青少年等の利用増大や青少年団体等の活動の促進など設置目的に沿った青少年会館の運営に努めるべきである。 会館のリニューアル等については、教育財団などの他機関の施設との機能分担を考慮して検討する必要がある。</p>			